

# 新県立中央図書館の整備（基本設計の概要）

## （要 旨）

東静岡駅南口の県有地に全館移転する新県立中央図書館について、基本設計の概要をまとめた。

## 1 基本方針

県民の生涯学習や読書活動を支えるため、豊富で多彩な蔵書の収集・活用、レファレンスの充実・高度化、デジタル化の推進、子ども図書館の設置等により、県民の知のインフラとして図書館機能の一層の充実・強化を図る。

また、新しい図書館として、居心地の良いサードプレイスの中でリアルとバーチャルの多様な情報を取り扱い、人々の学び・交流・創造を促すサービスを行うなど、県民が出会い、交わり、新しい文化を育む新時代の「情報」館を目指す。

## 2 基本設計における新館の特長

- (1) 建物の中心に城郭を彷彿させる構成の資料体（＝書庫）を配置
- (2) 低層階に新たな図書館としての機能（学び・交流・創造の場）を配し、研究や読書に集中できる上層階の落ち着いた空間に誘う動線を確保
- (3) アフターコロナも見据え、富士山を見渡す方向を中心に閲覧席や憩い・安らぎの場となるテラスを各所に配置
- (4) 県全域の木材をふんだんに活用した温かみと親しみのある空間づくり（施設以外に什器としての県産家具の活用も検討）
- (5) 環境性能に配慮した ZEB Ready、CASBEE 静岡 S ランクを目標（太陽光発電や雨水の利用）

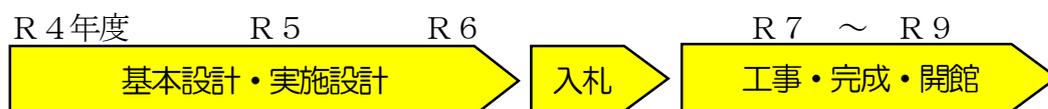
《資料体（書庫）のイメージ》



## 3 今後検討していく主な内容

- (1) 新たな図書館の中核となる交流スペース（低層階）において提供するサービスの充実に向けた効果的な運営方針・民間活力等の導入等
- (2) デジタル技術と司書の高い能力を活かしたレファレンスサービスの充実
- (3) 利用者の利便性を高めるシステムをはじめ、情報のデジタルアーカイブの集積とオープンデータ化など世界とつながる情報拠点に相応しい図書館DXの構築

## 4 施設整備に関する工程計画



※ 令和9年度後半 開館予定

（参考）埋蔵文化財発掘調査（R5～6）

建設予定地において発掘調査を行うため、既存のグランシップ駐車場の一部解体工事を実施